

# 第 135 回 地区内中小企業 景気動向調査結果

(2022年 7月 ~ 9月実績)

(2022年 10月 ~ 12月予想)

\*\*\*\*\* 目 次 \*\*\*\*\*

地区内データベース	.....	1
全国 ・ 全道の概況	.....	4
調査の概要	.....	5
全業種総合	.....	6
製造業	.....	9
建設業	.....	11
卸売業	.....	13
小売業	.....	15
サービス業	.....	17
特別調査	.....	19

# 地区内データベース

## 1. 人口・世帯数動向（令和4年9月末）

町 村 名	人 口			世 帯 数		
	人 数	前年同月比	3 月 末 比	世 帯 数	前年同月比	3 月 末 比
平 取 町	4,623	-70	22	2,429	-15	44
日 高 町	10,996	-173	30	5,971	12	69
新 冠 町	5,206	-74	28	2,775	11	37
新ひだか町	21,135	-339	64	11,475	-24	134
浦 河 町	11,690	-50	61	6,686	106	111
様 似 町	4,023	-69	-22	2,108	-16	4
え り も 町	4,332	-118	3	2,075	-36	30
広 尾 町	6,258	-136	8	3,247	-10	53
大 樹 町	5,434	-3	35	2,788	37	33
日高・十勝地区合計	73,697	-1,032	229	39,554	65	515
札 幌 市	1,961,298	-320	2,604	1,096,849	10,087	7,047
江 別 市	119,333	-444	197	59,427	327	515
石 狩 市	57,984	-156	5	28,412	127	181
北 広 島 市	57,483	-367	-83	28,195	118	104
恵 庭 市	70,332	179	299	34,919	454	350
千 歳 市	97,665	-101	613	51,406	364	690
石狩地区合計	2,364,095	-1,209	3,635	1,299,208	11,477	8,887
苫 小 牧 市	168,640	-1,116	-353	90,978	400	335
厚 真 町	4,413	7	29	2,150	29	29
む か わ 町	7,614	-49	82	4,115	50	126
胆振地区合計	180,667	-1,158	-242	97,243	479	490
営業区域合計	2,618,459	-3,399	3,622	1,436,005	12,021	9,892

\*日高町の人口に外国人登録者数は含まれていません

(資料出所：各市町村)

## 2. 企業倒産状況（令和4年7～令和4年9月中）

単位：件・百万円	件 数	負 債 金 額	件数前年同期比	金額前年同期比
苫 小 牧 管 内	8	242	6	-638
(内・新冠町～えりも町)	2	70	2	70
業種および件数				
地区および件数				
北 海 道	40	2,871	12	-2,846
全 国	1,585	340,869	138	87,571

(資料出所：東京商工リサーチ)

### 3. 労働需給状況

令和4年7月

	浦河 (人・倍)	全道 (人・倍)	前年同月比(%・ポイント)		前月比(%・ポイント)	
			浦河	全道	浦河	全道
月間有効求人数	1,040	93,178	13.54	15.27	0.48	0.01
月間有効求職者数	593	84,408	6.46	3.22	-7.63	-5.63
月間有効求人倍率	1.75	1.10	0.11	0.11	0.14	0.06

令和4年8月

月間有効求人数	1,024	93,742	13.53	15.27	-1.54	0.61
月間有効求職者数	597	83,981	3.47	0.18	0.67	-0.51
月間有効求人倍率	1.72	1.12	0.16	0.15	-0.03	0.02

令和4年9月

月間有効求人数						
月間有効求職者数						
月間有効求人倍率						

(資料出所：厚生労働省 北海道労働局)

### 4. 浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金・貸出金残高 (令和4年9月末現在)

単位：百万円・%

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	貸 出 金	前年同月比	前 月 比
179,247	1.06	1.00	59,829	1.01	1.01

(資料出所：浦河・静内金融協会)

### 5. 浦河町・新ひだか町静内 手形交換高

令和4年7月

	当 月	前年同月比 (%)	前月比 (%)
交 換 枚 数 (枚)	97	-15.65	-45.81
交 換 金 額 (百万円)	372	95.79	26.53
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和4年8月

交 換 枚 数 (枚)	216	-10.00	122.68
交 換 金 額 (百万円)	440	-13.89	18.28
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和4年9月

交 換 枚 数 (枚)	165	-1.20	-23.61
交 換 金 額 (百万円)	430	-9.47	-2.27
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

(資料出所：浦河・静内金融協会)

## 6. 建築確認申請

単位：件数

		件数	前年同期比	前四半期比
当金庫管内 (新ひだか町～広尾町)	4/7～4/9月迄の累計	24	3	1
	4/4～4/9月迄の累計	47	-13	

(資料出所：各町村)

## 7. 気象情報

令和4年7月中

	本年			平年偏差・平年比		
	気温(℃)	降水量(mm)	日照時間	気温(℃)	降水量(%)	日照時間(%)
浦河	20.1	198.5	129.3	2.4	140.3	111.9
広尾	19.4	342.5	112.0	2.8	206.1	103.4

令和4年8月中

浦河	20.4	361.0	108.4	0.5	223.4	79.7
広尾	19.8	404.0	95.3	1.2	185.6	83.7

令和4年9月中

浦河	18.8	133.0	169.8	17.7	144.4	163.4
広尾	17.8	116.5	148.0	16.6	262.6	134.5

(資料出所：国土交通省 気象庁)

## 全 国 ・ 全 道 の 概 況

信金中央金庫がまとめた全国信用金庫の窓口から見た中小企業の景況によると、2022年7～9月期（今期）の業況判断D. I. は△17.8、前期比2.1ポイントの小幅改善と、2四半期続けて改善した。収益面では、前年同期比売上額判断D. I. がプラス0.7と前期比0.1ポイント低下、同収益判断D. I. は△12.7と同0.9ポイント低下した。販売価格判断D. I. はプラス24.3と前期比0.8ポイント上昇した。人手過不足判断D. I. は△22.2と人手不足感が一段と強まった。設備投資実施企業割合は20.7%と前期比1.2ポイント上昇した。業種別の業況判断D. I. は全6業種中、不動産業を除く5業種で、地域別では全11地域中、九州北部と南九州を除く9地域で改善した。2022年10～12月期（来期）の予想業況判断D. I. は△15.6、今期実績比2.2ポイントの小幅改善を見込んでいる。業種別には全6業種中、不動産業を除く5業種で、地域別には全11地域中9地域で、それぞれ改善見通しにある。

日本銀行札幌支店が10月3日発表した北海道金融経済概況によると、北海道の景気は、緩やかに持ち直してる。すなわち、個人消費は、緩やかに持ち直している。観光は、引き続き厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している。設備投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、高水準ながら弱めの動きとなっている。住宅投資は、減少している。生産は、横ばい圏内の動きとなっている。輸出は、持ち直している。雇用・所得情勢をみると、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに改善しつつある。

### 需要項目別動向

- 公共投資・・・高水準ながら弱めの動きとなっている。公共工事請負金額は、高水準ながら、このところ弱めの動きとなっている。
- 輸出・・・持ち直している。主要品目別にみると、食料品では、高水準で推移している。輸送用機器等では、緩やかに持ち直している。
- 設備投資・・・緩やかに持ち直している。9月短観（北海道地区）における2022年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。
- 個人消費・・・緩やかに持ち直している。百貨店、サービス消費は、緩やかに持ち直している。スーパー、ドラッグストアは、底堅い動きとなっている。コンビニエンスストアは、持ち直している。家電販売は、横ばい圏内の動きとなっている。乗用車販売は、供給制約の影響から、減少している。
- 観光・・・引き続き厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している。
- 住宅投資・・・減少している。新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家は、減少している。分譲は、持ち直している。
- 生産（鉱工業生産）・・・横ばい圏内の動きとなっている。主要業種別にみると、食料品では、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。輸送機械、電気機械では、横ばい圏内の動きとなっている。紙・パルプでは、下げ止まりつつある。
- 雇用・所得・・・一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに改善しつつある。
- 物価・・・消費者物価（除く生鮮食品）は、前年比が前月を上回った。
- 企業倒産・・・低水準で推移している。